

デジタル戦略

急速に進化するデジタル技術を起点に、成長のスパイラルを創る

グループCDIOとして、デジタル技術を活用し、既存金融事業のDXを推進するとともに、金融機関の枠を超えた新たなビジネスの創出に深くコミットしています。

なぜ「金融機関の枠を超える」ことに挑戦するのか。それは、デジタル技術には物理的な距離や人間の認知能力の限界等さまざまな制約を取り払い、飛躍的に労働生産性を向上することができる大きなポテンシャルが残されていると感じているからです。

わが国においては、少子高齢化に伴う労働力不足が深刻な課題であると捉えていることから、デジタル技術を起点に、SMBCグループを含む日本企業の労働生産性を高めるソリューションを提供することで、日本の再成長に貢献していきます。さらに、デジタルの力を活用してグローバルに事業を展開することで世界の経済成長を取り込み、それらがSMBCグループの収益向上につながるような成長のスパイラルを創っていきたいと考えています。



執行役専務
グループCDIO

磯和 啓雄

082

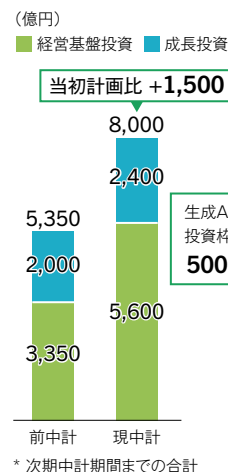
1

急速に進化する デジタル技術を取り込む

AI-leading Financial Institutionとしてのブランド確立

AI技術が急速に進化する中、今後はAI利活用の巧拙によって企業間の格差がさらに拡大する可能性が高まっています。SMBCグループでは、IT投資予算を8,000億円に増額し、AI技術を効果的に活用した新たなビジネス創出に向けて、次期中期経営計画も含めた500億円の投資枠を2024年10月に設定しました。2024年度下期には30件を超えるプロジェクトを承認しており、AIを活用した与信審査や、社長と自由にコミュニケーションを取れる「AI-CEO」等の具体例も出ています。

IT投資額



新たな技術の継続的な探索

近い将来を見据えて継続的に新たな技術を探索し、成熟度や市場浸透度に応じてユースケース検討等を推進することで、時流を捉えた事業展開に備えています。一例として、現在はアバター技術やWeb3、量子コンピューター等の領域に特に注力しています。

Topics

ステーブルコインの事業化検討

将来的に新たな決済インフラとなり得るステーブルコインについて、国内外で先進的な取組を重ねているTISおよび、海外で有力なプラットフォームであるAva Labs社やFireblocks社と事業化に向けた共同検討にかかる基本合意書を締結しました。金融機関・事業者間の決済高度化や、デジタル化された資産と組み合わせたビジネスへの活用可能性を検討していきます。

2

デジタルビジネスを通じて
日本の再成長に貢献する

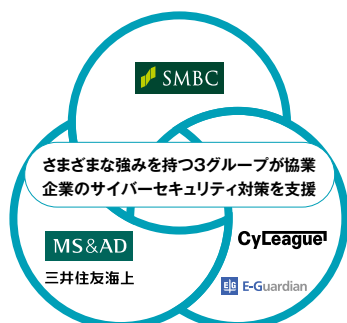
SMBCグループではこれまでに、お客さまのさまざまな課題を解決するソリューションを提供する子会社を10社以上立ち上げ、日本企業の労働生産性向上に資する新規サービスの創出に取り組んできました。

電子契約・契約書管理サービス「SMBCクラウドサイン」のような業務のデジタル化により直接的に労働力不足を補うソリューションだけでなく、組織力の向上を支援する「SMBC Wevox」や、デジタル化の前提となるサイバーセキュリティ対策を支援する「SMBCサイバーフロント」等、幅広いソリューションを展開しています。

Topics

外部企業との共創による事業開発

SMBCサイバーフロントは、三井住友海上、サイリীগホールディングス、イー・ガーディアンとともに2025年2月に設立した会社であり、中堅・中小企業向けのサイバーセキュリティ対策支援サービスを提供しています。これまでも、SMBCクラウドサインやSMBC Wevox等を外部企業との共同出資で設立しており、SMBCグループの有する顧客基盤等のアセットに、スタートアップを含む外部企業の専門性を掛け合わせた事業開発を進めています。



3

テクノロジーを武器に
世界で戦う

海外CVCを通じたスタートアップ連携

2023年5月、成長著しいアジア地域で総額2億米ドルのコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)「SMBC Asia Rising Fund」を立ち上げました。本ファンドにおいて投資先企業との協業を通じた事業開発事例が生まれている実績も踏まえ、2025年度には、スタートアップや先端テクノロジーの集積する米国においてもCVC機能を始動させ、端緒として3億米ドルのファンドで投資活動を開始します。本CVCを通じ、スタートアップとの連携や、米州を含むSMBCグループ事業への活用をさらに加速していきます。

海外でのAI事業立ち上げ

AIエージェントの発展・普及に伴い大きなパラダイムシフトが予想されている中、その“The Agentic Economy”を先取りしたビジネス展開を視野に、グローバルでのAI事業開発に取り組んでいきます。端緒として、AI領域で世界トップクラスの人材を招聘してAIエージェントを活用した事業を立ち上げました。SMBCグループのAIトランスフォーメーションをグローバル水準で推進するとともに、今後は顧客向けサービスの展開も予定しています。

Topics

「Olive」の着実な成果発揮や、AIとデータを駆使した業態変革と新規ビジネスモデルの創出等、多面的なDXの取組が評価され、SMBCグループは、経済産業省・東京証券取引所・独立行政法人情報処理推進機構による「DX銘柄」に2年連続で選定されました。



DX銘柄2025
Digital Transformation